

2017年4月6日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

2004年アテネ五輪で金、2012年ロンドン五輪で銅メダル獲得 引退後は、日本のスポーツ発展のために幅広い分野で活躍

ハンマー投 室伏 広治 氏

スペシャルインタビュー 公開

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する、笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区 理事長：小野清子 以下：SSF）では、スポーツの価値や意義を検証し、あるべきスポーツの未来について考える機会として、日本のスポーツの歴史を築かれた方々へのインタビュー記事「スポーツ歴史の検証」（<http://www.ssf.or.jp/history/tabid/811/Default.aspx>）を連載しています。

今回ご登場いただくのは、ハンマー投で4大会連続オリンピック出場、2004年アテネ大会で金メダル、2012年ロンドン大会で銅メダル獲得、日本選手権20連覇という偉業を成し遂げた室伏広治さんです。

昨年引退された後も、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会スポーツ局長／スポーツディレクター、東京医科歯科大学教授、スポーツサイエンスセンター長など多岐にわたって活躍中。インタビューでは、競技人生の中で、人の話に耳を傾けること、自ら探求することで成長していったエピソードや、2020年東京オリンピック・パラリンピックで残すべきレガシーなどについてお話いただきました。

笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』 第61回 常に「変化」と「工夫」をしてきた競技人生 室伏 広治 氏

スポーツ歴史の検証 で検索ください！

【URL】 <http://www.ssf.or.jp/ssf/tabid/813/pdid/253/Default.aspx>

【主な内容】 スポーツディレクターとして、大学教授として、多岐にわたる活躍の場／「聞く耳」を持つことで切り拓いていった新しい自分／捉え方ひとつで「心の豊かさ」が変わることを知ったシドニー五輪／最も良いかたちとなった幕引きの場 など



室伏 広治（むろふし こうじ）氏

静岡県出身。元ハンマー投選手として、2000年から2012年のオリンピックに連続出場し、2004年アテネ大会で金メダル、2012年ロンドン大会で銅メダルを獲得する。2014年の日本陸上選手権大会では前人未到の20連覇を達成。世界陸上とオリンピックの両大会での金メダル獲得は日本人初となる。現在は、東京医科歯科大学の教授で教鞭をとるとともに東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会スポーツ局長兼スポーツディレクターを務める。

インタビューアー 山本 浩（やまもと ひろし）氏

スポーツ評論家。NHK在職中はエグゼクティブアナウンサー、解説委員（スポーツ・体育分野専門）として活動。現在は法政大学スポーツ健康学部教授を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス